Green Brave

＃52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

2025 年 3 月 23 日（日）

BRIDGESTONE SuperTaikyu JapaneseEnduranceRace ENEOS

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE 第 1 戦 Race2

もてぎスーパー耐久 4Hours Race（4 時間レース）モビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）

■最後尾から９台抜きを見せ、逆転優勝を達成■

Race2 決勝結果（ST-Z クラス）
＃52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2
（山﨑 学／吉田広樹／服部尚貴／野中誠太）
決勝：1 位（115 周、4 時間 02 分 14 秒 468）
予選：不通過（4 分 14 秒 168）※出走嘆願書受理で最後尾スタート

前日に引き続き行われたスーパー耐久第 1 戦もてぎの Race2。Race1 で車体後部を損傷した GR Supra GT4 EVO2 の修復は遅くまで行われ、元通りに修復済み。また、昨日の結果を受け、GR Supra GT4 EVO2 に対する性能調整は若干緩和されています。

A ドライバーの予選は 8 時 50 分から行われ、山﨑選手がコースイン。すぐに赤旗中断となり、残り 13 分で再開されます。山﨑選手は 4 周目に前日のタイムを上回る 1 分 59 秒 476 をマーク。トップで予選を終えました。続く B ドライバーの予選は 9 時 45 分から行われ、吉田選手が 3 周目に 1 分 58 秒 174 をマーク。トップで予選を終えますが、走路外走行があり、タイムは抹消に。この周以外の計測ラップはなく、まさかの予選不通過となりました。出走嘆願書が受理され、Gr.1 最後尾グリッドからのスタートが確定。結果は残念ですが、ギリギリまで攻めた結果です。

チームは決勝でのジャンプアップを狙い、スタートドライバーに A ドライバーの山﨑選手を起用。山﨑選手がスタートを務めるのは昨年の最終戦以来 2 回目で、混雑を避け、効率よく走ることでロスを最小限に食い止めるのが狙いです。山﨑選手は＃34 アウディを抜き、9 位で 1 周目を終了。前を走る＃21 メルセデスを追います。上位勢は SUPER GT で活躍するトップドライバーばかりですが、大きく遅れることなく周回。9 周目には上位の＃5GR Supra がペナルティストップを行ったため、8 位に浮上します。21 周目、追い上げてきた＃5GR Supra に抜かれ、再び 9 位へ。しかし、26 周目には＃51GR Supra を抜き、チームの期待に見事応えます。

A ドライバーの乗車義務時間（1 時間）をクリアした 29 周目、山﨑選手がピットイン。ST-Z クラスの中では最も早いタイミングです。吉田選手に交代し、給油とタイヤ交換を行ってピットアウト。店舗メカニックがノーミスで作業を行っており、9 位でコースに復帰します。吉田選手はベストラップを更新しながら力走。さらにライバルがピットに入りはじめたため、吉田選手の順位が上がっていきます。36 周目に 7 位、37 周目に 6 位へ。44 周目には前を走る＃20 日産 Z をパスし、5 位に上がります。さらに 48 周目には＃25 日産 Z、50 周目に＃21 メルセデスがピットに入ったため、3 位に浮上。前は 8 秒先を走る＃885GR Supra で、吉田選手はみるみるうちにギャップを削り、61 周目にパス。66 周目にはトップの＃26 日産 Z が 2 回目のピットインを行ったため、初めてトップに立ちます。71 周目、約 1 時間半の走行を終えた吉田選手がピットイン。またしても店舗メカニックがタイヤ交換と給油をノーミスで行い、服部選手がピットアウトします。

服部選手はトップでコースインしますが、1 コーナー手前で＃26 日産 Z が先行。しかし 2 台の差はわずかで、服部選手はファステストラップをマークしながら追いかけます。服部選手は 75 周目にピットイン。前日の Race1 同様、アンカーの野中選手がもっとも効率よくチェッカーまで走り切るために、4 周で交代します。野中選手に交代し、満タン給油のみでピットアウト。2 位でコースに復帰します。トップの＃885GR Supra は最後のピットインを残しており、88 周目に難なくトップへ。89 周目には＃26 日産 Z が 2 位に上がりますが、チェッカー直前のガス欠でピットに戻り、勝負はここまで。野中選手が＃885GR Supra に約 14 秒差をつけ、トップチェッカーを受けました。最後尾からの逆転優勝はチーム初。スタッフ全員が Race1 の反省を活かし、仕切り直しの気持ちで臨んだことで前日のリベンジを果たしました。

©2025 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

■DRIVERS VOICE

山﨑　学選手

チーム全員でつかみとった勝利だと思います。スタートは慣れていないので緊張しましたが、やることは決まっていました。まわりはみんなプロなので、離されずについていくことを心がけ、あとはチームを信じて走りました。結果的についていけたので良かったです。性能調整のことは気になりますが、コースに出たら関係なし。目一杯攻めようと思っていました。結果が出ない時もファンの方が応援してくれるので、ぼくらは支えられて頑張ることができます。本当にありがとうございました。

吉田広樹選手

ぼくの予選タイムが抹消され、最後尾から追い上げることになりました。チームが一番追い上げられる作戦を考えてくれて、うまくはまりました。ただ、作戦だけでなく、山﨑選手がプロにまじってしっかり走り、メカニックの作業やタイヤ交換もうまくいきました。昨日はいろいろなミスがありましたが、みんなでそれを活かして気を引き締め、やり直したことが結果につながったと思います。まだシーズンは始まったばかりなので、足りない部分をまだまだ突き詰めて、頑張りたいと思います。

服部尚貴選手

最後尾スタートだからこそ、できた作戦でした。山﨑選手が乗った最初のスティントはプロが乗る時間。本当に大変なのですが、あそこで離されることなく、上位についていってくれたから、今回の結果があります。メカニックの仕事も完璧。予選時の走路外走行以外はすべてパーフェクトでした。今日は昨日のレース１に続く、今シーズンの２戦目となりますが、３位と優勝、２回の表彰台を獲得することができたので、そういう意味ではいいスタートをきれたと思います。

野中誠太選手

全車を抜いて優勝したのは初めてです。ピット回数を考えたら、ぼくらがトップに立てることはわかっていました。マージンもあったので、後ろとの差をコントロールしながら走りました。昨日、追突されたことによる、むち打ちも怖かったのですが、問題なく走ることができました。昨日、メカニックのみなさんが夜遅くまで頑張って修復してくれたので、この結果は非常に良かったと思います。２日連続で耐久レースがあると、体にもダメージがあるので、しっかりケアして準備したいと思います。

ST-Z クラス　Race2　決勝結果

順位	チーム	周回数
1 位	**埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2（GR Supra GT4 EVO2）**	**115 周**
2 位	シェイドレーシング GR Supra GT4 EVO2（GR Supra GT4 EVO2）	115 周
3 位	raffinee 日産メカニックチャレンジ Z NISMO GT4（Z NISMO GT4）	114 周
4 位	TECHNO FIRST R8 LMS GT4（アウディ R8 LMS GT4）	114 周
5 位	NANIWA DENSO TEAM IMPUL Z（Z NISMO GT4）	114 周
6 位	Hitotsuyama Mercedes-AMG GT4（メルセデス AMG GT4）	114 周

出走 10 台 トップ６まで

ST-Z クラス　ポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	**52**	**埼玉 Green Brave**	**●**
2 位	26	TEAM ZEROONE	●
3 位	885	SHADE RACING	●
4 位	21	Hitotsuyama Racing	●
5 位	20	TEAM IMPUL	●
6 位	25	TEAM ZEROONE	●

上位６位まで

次戦　４月 26 日～27 日　鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）

Green Brave PARTNERS

赤城車体工業株式会社

株式会社アルシェ

株式会社エイテック

株式会社 FM NACK5

株式会社岡崎巧芸

株式会社カーグラス・JP

埼群スリーボンド株式会社

株式会社三和広告社

JU 埼玉オートオークション株式会社

株式会社西武ライオンズ

ティーズ・ワークス

株式会社デンソーソリューション

東京キリンビバレッジサービス株式会社

トヨタホーム東京株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社　埼玉支社

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

有限会社 MY CARS

マックメカニクスツールズ株式会社

丸和工業株式会社

Mechanix Wear LLC

株式会社リバイバルマネジメント

株式会社リビコー

©2025 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.